

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年2月5日

【2018年1月27日～2018年2月2日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・リアルは対米ドル、対円で下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。FOMC(米国連邦公開市場委員会)の声明文や米雇用統計の強い数字を受けて米国の追加利上げ観測が高まり、米長期金利が大きく上昇しました。これを受けて、市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まり、ブラジル金融市場では為替・債券ともに軟調な推移となりました。

年金改革法案を巡る政治情勢につきましては、テメル大統領やメイレス財務相ら政府首脳は引き続き2月中の下院採決について前向きな発言を行っているものの、現時点においても連立与党内の賛成票は、可決に必要な308票に対して270票程度にとどまっている模様で、2017年12月に採決を先送りした時点から賛成票はほぼ横ばいとなっています。こうした状況を打開すべく、年金改革に対する国民からの支持を獲得するため、政府は新たな広報活動を展開する方針を示したほか、連立与党からの支持を確保するために、妥協策として同法案の一部変更を受け入れることも政府は示唆しました。

【2】今週の見通し

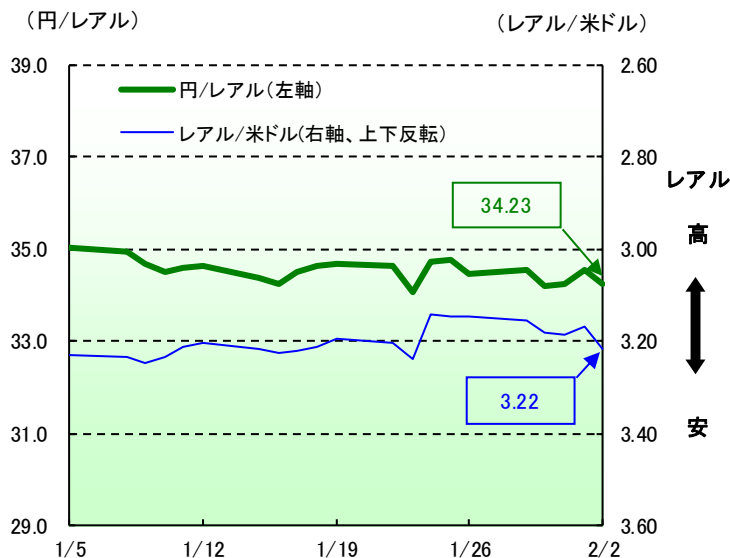
2月6日から7日(現地、以下同様)にかけてブラジル中央銀行がCOPOM(金融政策委員会)を開催いたします。市場予想では、政策金利が7.00%から6.75%へと0.25%ポイント引き下げられるとともに、今回をもって利下げが停止される見込みとなっています。ブラジル中央銀行が声明文において利下げサイクルの継続性についてどのように言及するかが注目されます。

年金改革法案につきましては、今週から国会での審議が本格化する予定です。6日にはマイア下院議長が年金改革法案の修正案を提示し、7日に連立与党との協議が行われる見込みとなっています。協議後にはマイア下院議長が同法案の最終的な見通しについて表明する可能性があり、その発言内容には注目が集まります。

経済指標では、IPCAインフレ率や小売売上高の発表が予定されています。前者につきましては市場予想では、前月同様に前年比3%をわずかに下回る水準のインフレ率が見込まれております。

【ブラジル・リアル 為替推移】

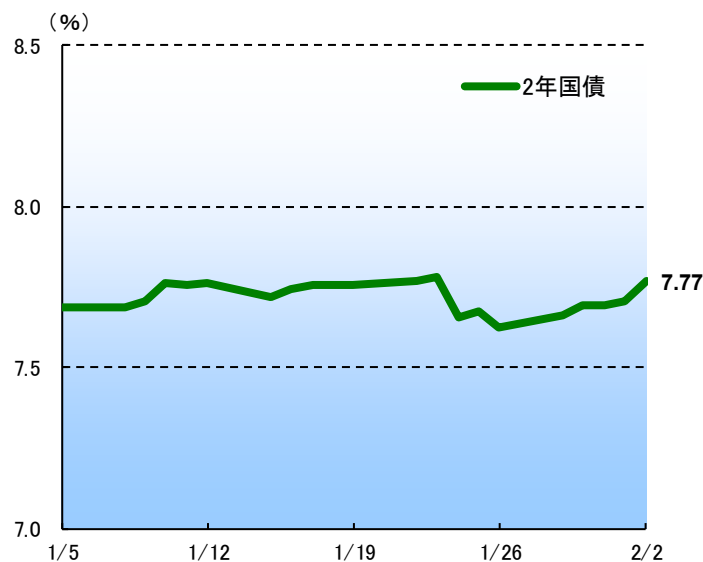
(2018年1月5日～2018年2月2日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年1月5日～2018年2月2日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>